



城南中だより

舞鶴市立城南中学校
令和7年6月1日発行
第3号 通算 通算701号

「修学旅行」

木々の緑が色濃くなる時期となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、3年生は3日間、東京へ修学旅行に行ってきました。修学旅行当日は、学年スローガンである「Our Treasure ～最高の修学旅行にさあ行こう!」の思いを背負って、先生方に見送られながら出発しました。

1日目はまず、葛西臨海水族園に行ってきました。ここでは、魚だけでなく、海鳥や貝、微生物など、たくさんのコーナーがあり、いろいろな海の生き物について知りました。その後は、東京タワーとRED° TOKYO TOWERに行ってきました。東京タワーは、とても高くて眺めがよく、お台場や増上寺などの東京の街並みを見ることができました。床がガラス張りになっているところでは、上からの眺めを楽しむことができました。RED° TOKYO TOWERは、最新の映像や3Dを活かした、体を思いっきり動かさせられるところだったため、とても新鮮で新しい遊び場でした。

2日目は、班別行動を行いました。私たちは修学旅行までの間、タブレットのアプリやインターネットを駆使し、班で話し合っ計画を立ててきました。計画通りにいった班やそうでなかった班もありましたが、全員が集合時間までにディズニーランドに集まることができました。そして、その後のディズニーランドでは、完全に自由行動となり、それぞれがグループでアトラクションに乗ったり、カチューシャやお土産を買ったりして楽しんでいました。

3日目の国会議事堂では、はじめに国会議員の本田さんに挨拶をしていただきました。とても厳格な場所でしたが、ルールを守り、クラスで行動することができました。その後の東京キャラクターストリートでは、東京ならではの土産やいろいろなコーナーがあり、最後のお土産選びを楽しんでいました。

バスや新幹線、ホテルなどでは、度が過ぎて騒ぎすぎてしまい、バスガイドさんや一般の方々に迷惑がかかってしまう場面がありました。そのため、1日目の反省を生かして、3日目の移動やホテルはルールやマナーを守ろうとする行動や声掛けを行うことができました。

このように、この修学旅行では、主体性と協調性やルールやマナーを守ることの大切さ、計画を立てることの難しさなど、たくさんのことを学ぶことができました。これからは、このことを1・2年生に伝えていけるように探究を頑張っていきます。

生徒会 副会長 江上瑠夏

「Agency(エイジェンシー)」を学校の真中に

OECD(先進国の経済協力グループ)は、「Education 2030 プロジェクト」(世界中の学校で「未来の社会で大切になる力」を育てるために、どんな教育が必要かを考えるプロジェクト)で最も大切にされている考えを「エイジェンシー」と表現しました。これは、言い換えれば「世界の教育目標」と言えるかもしれません。この言葉は、「当事者意識」「自分で考え、行動し、社会にかかわっていく力」などと説明されます。

この観点で5月を振り返りますと、生徒会本部役員が「朝読書」が全校でしっかりと取り組まれているのかどうか見回りをして、その改善策を考えたり、2年生が校外学習前に、その質を高めるために評議委員8人で劇を行ったりしたことが思い出されます。いずれの行動も自分たちが城南中学校をより前進させようとする「当事者意識」を存分に発揮しました。引き続き、生徒の「エイジェンシー」が高まる教育活動を継続してまいります。

保護者、地域の皆様方のご理解・ご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。



2年生「学び劇」

校長 鈴木 俊治
教職員一同